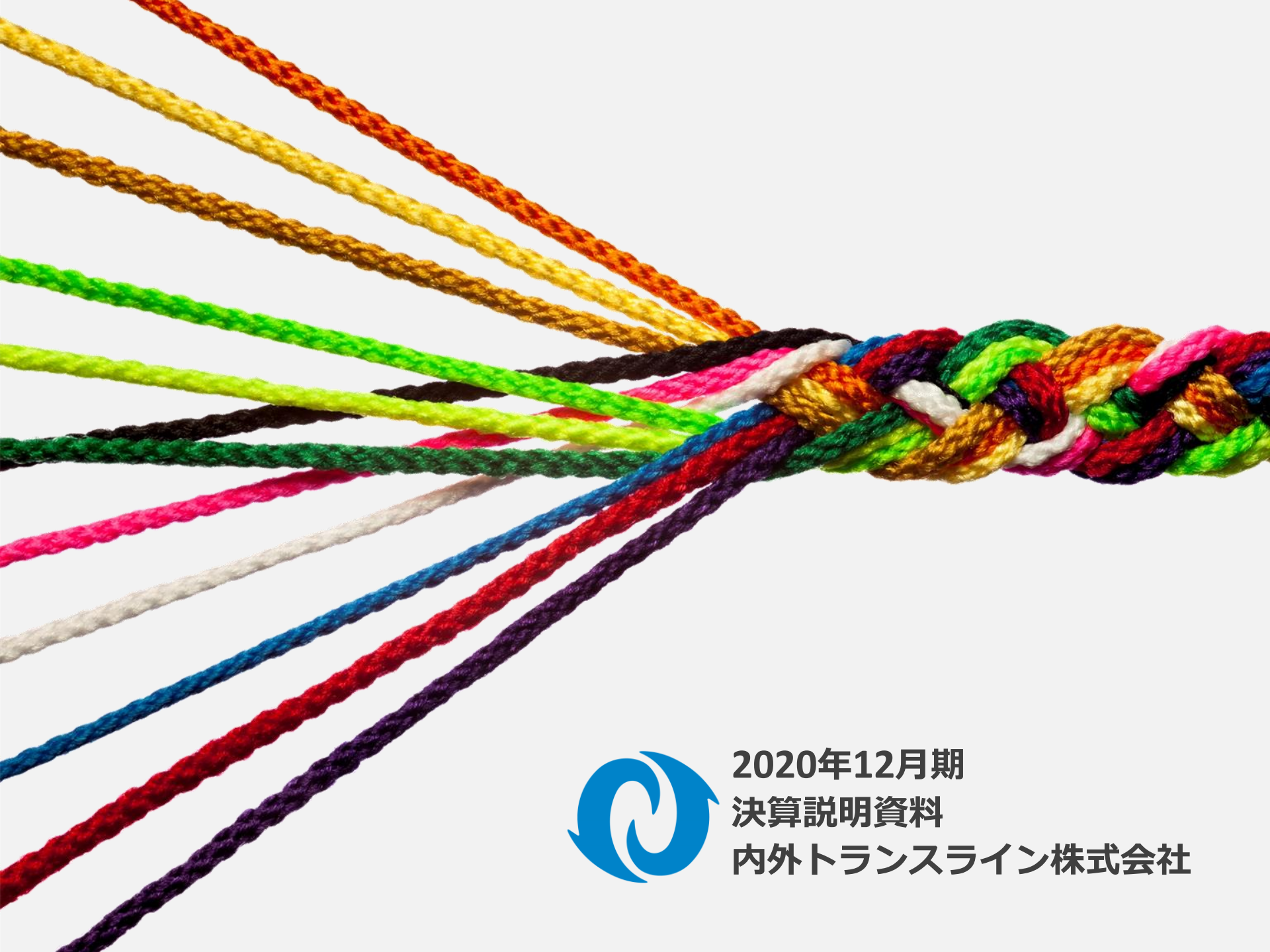




2020年12月期

決算説明資料

内外トランスライン株式会社

決算概要

連結実績

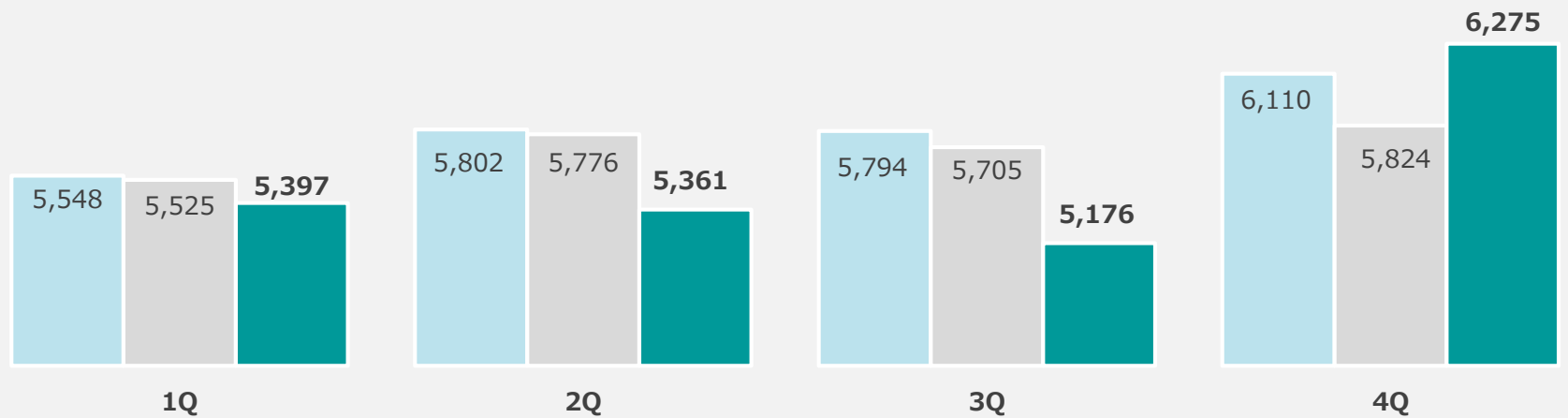
(百万円)

	2019	2020	対修正業績 予想乖離額	2020 修正業績予想
売上高	22,830	22,209	909	21,300
営業利益	1,528	1,411	201	1,210
経常利益	1,594	1,484	214	1,270
親会社株主帰属 当期純利益	1,091	850	-30	880
為替レート(USD/円)	109.03	106.77	2.23 円高	(2020年予算レート) 109.00

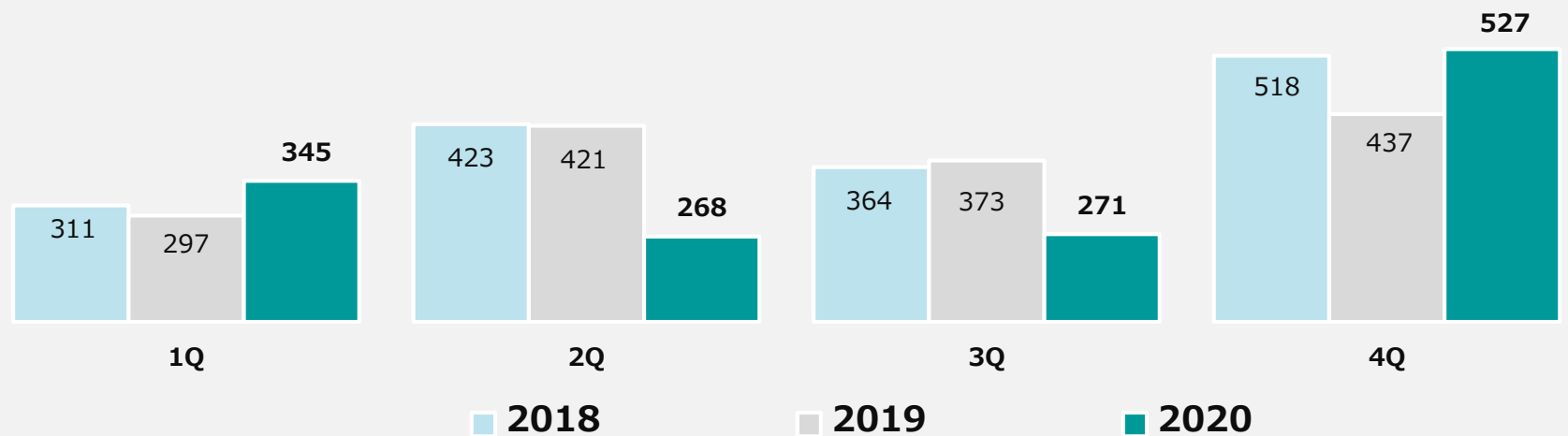
連結四半期売上高・営業利益比較

売上高

(百万円)



営業利益



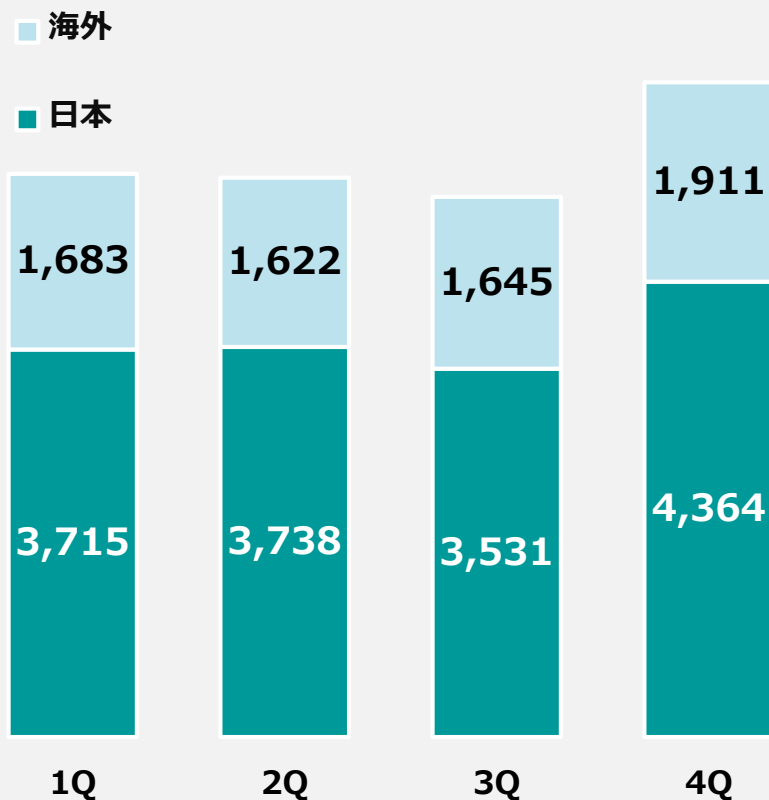
セグメント別売上高・営業利益

(百万円)

	2019	2020	対前年増減率 (%)	増減額
売上高	22,830	22,209	-2.7	-620
日本	15,289	15,348	0.4	58
海外	7,540	6,860	-9.0	-679
セグメント利益	1,528	1,411	-7.7	-116
(調整額)	(-65)	(-33)	(-)	(31)
日本	1,002	864	-13.8	-137
海外	590	579	-1.8	-10

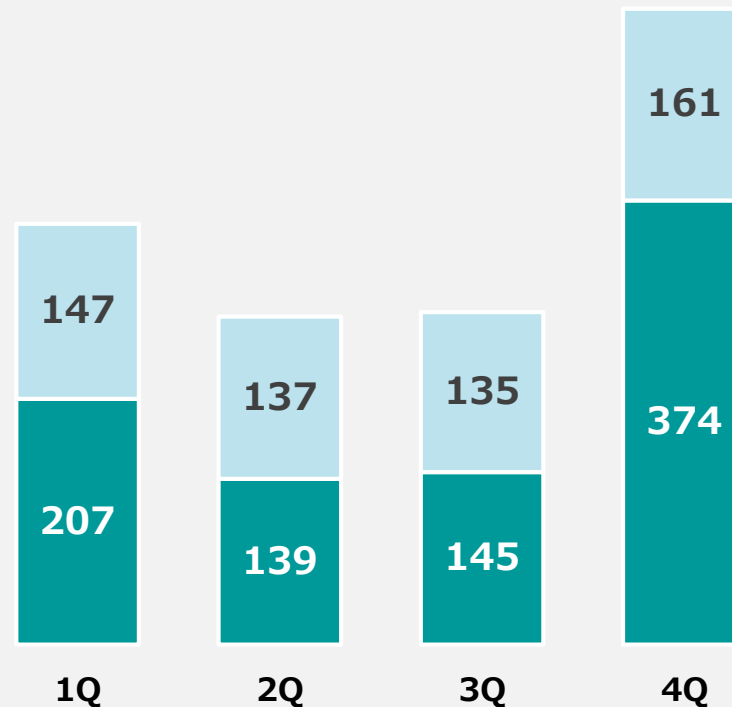
セグメント別四半期売上高・営業利益

売上高



営業利益

(百万円)



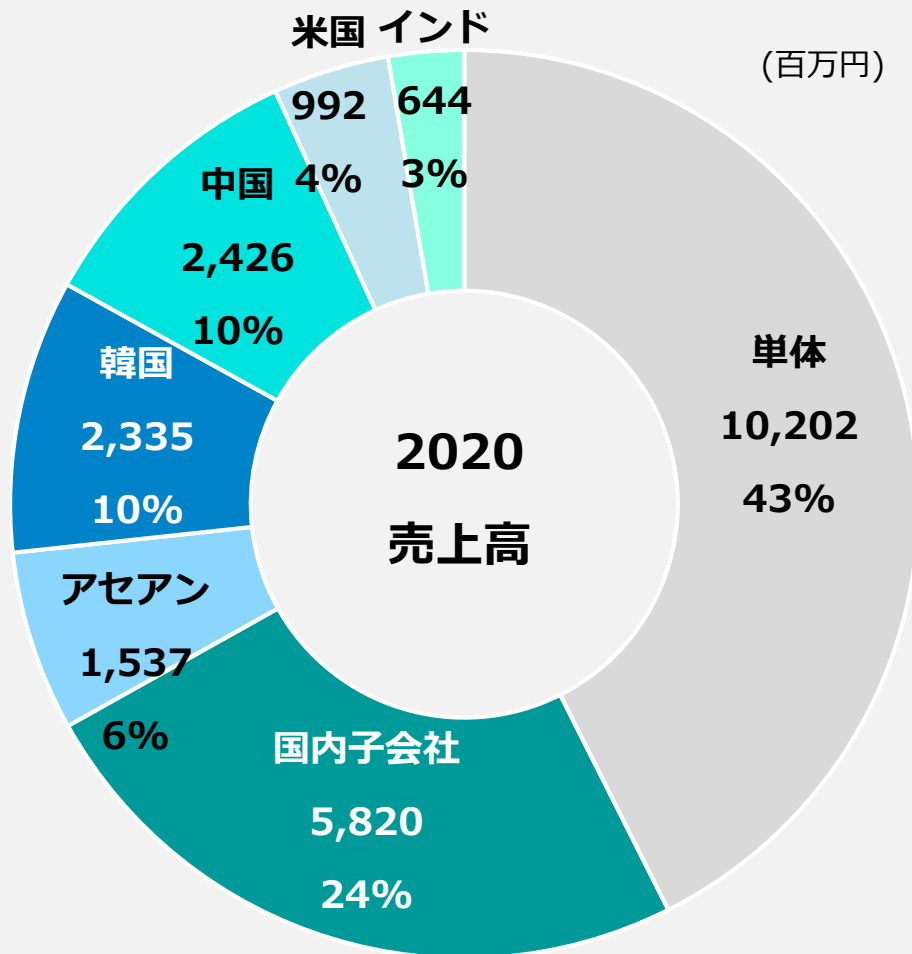
海外/日本のセグメント比率

31%	30%	32%	30%
69%	70%	68%	70%

42%	49%	48%	30%
58%	51%	52%	70%

* 内部取引調整前

当社グループ売上高の割合



* 内部取引調整前

現地法人を5ブロックに分割 (第4次中期経営計画)

地域性、優位性を活かした
きめ細かい施策による積極的営業

〈アセアン〉

中国からの生産移管に伴う
アセアン域内の物流

〈中国〉

生産国から消費国への変貌。
内陸輸送の強化

〈韓国〉

倉庫を絡めたビジネスの拡大

〈米国〉

フルコンテナ取扱い本数の拡大

〈インド〉

倉庫を活用し、内陸輸送を拡充

連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

<主な変動要因>

流動資産

- ・現金及び預金 +488
- ・売掛金 +287

固定資産

- ・建物及び構築物 △81
- ・使用権資産 △86

総資産 12,784 (+ 639)

流動資産

9,293

(+795)

流動負債

2,326

(+340)

固定負債

593

(▲80)

純資産

9,864

(+379)

[非支配株主持分663含む]

固定資産

3,491

(▲156)

自己資本比率

72.0%

<主な変動要因>

流動負債

- ・買掛金 +77
- ・未払法人税等 △71
- ・役員退職慰労引当金 +300

固定負債

- ・長期未払金 △80

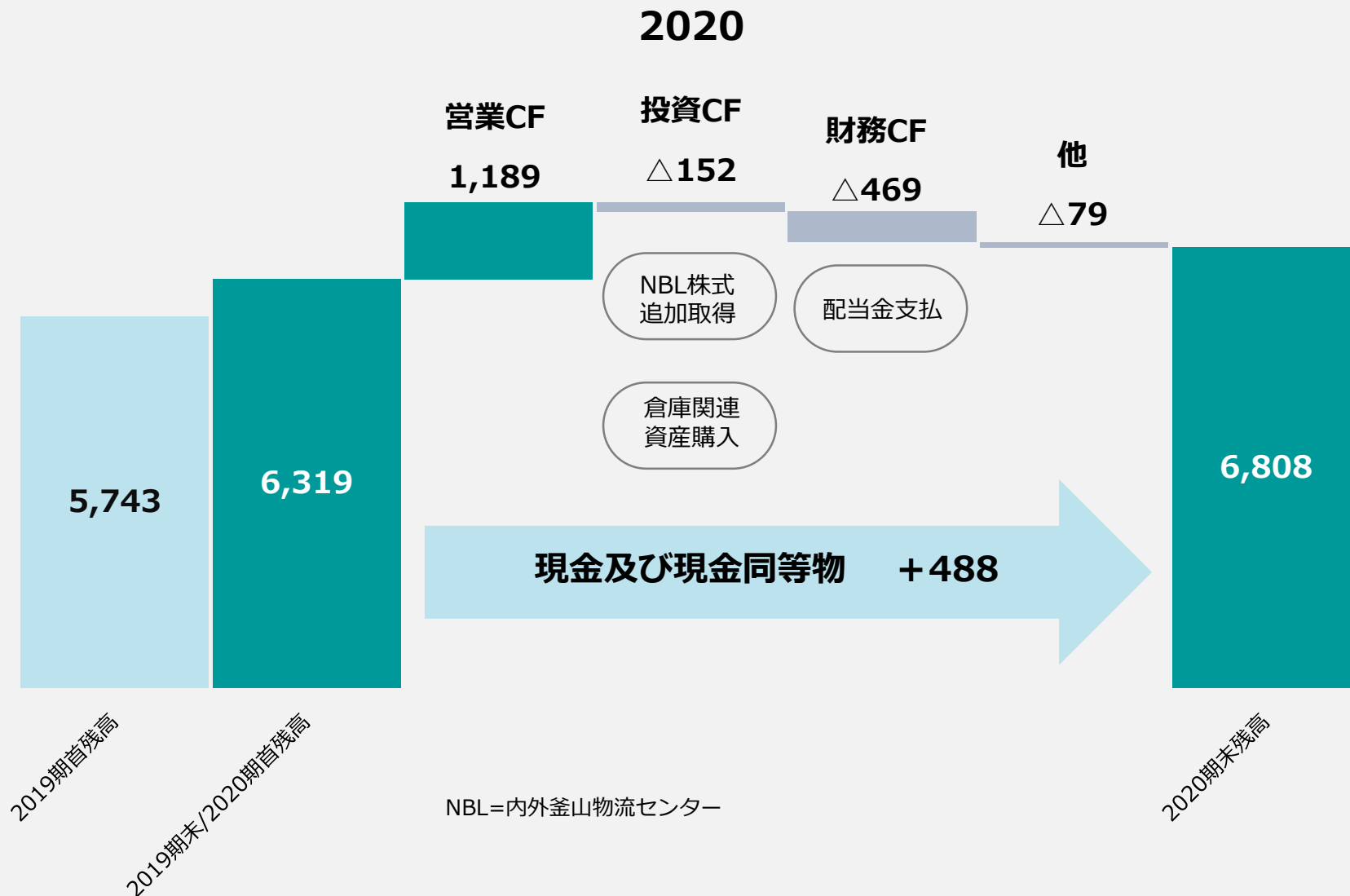
純資産

- ・利益剰余金 +500
- ・為替換算調整勘定 △85
- ・非支配株主持分 △70

有形固定資産の減少は主に減価償却等によるもの

() 内は前期末比増減

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

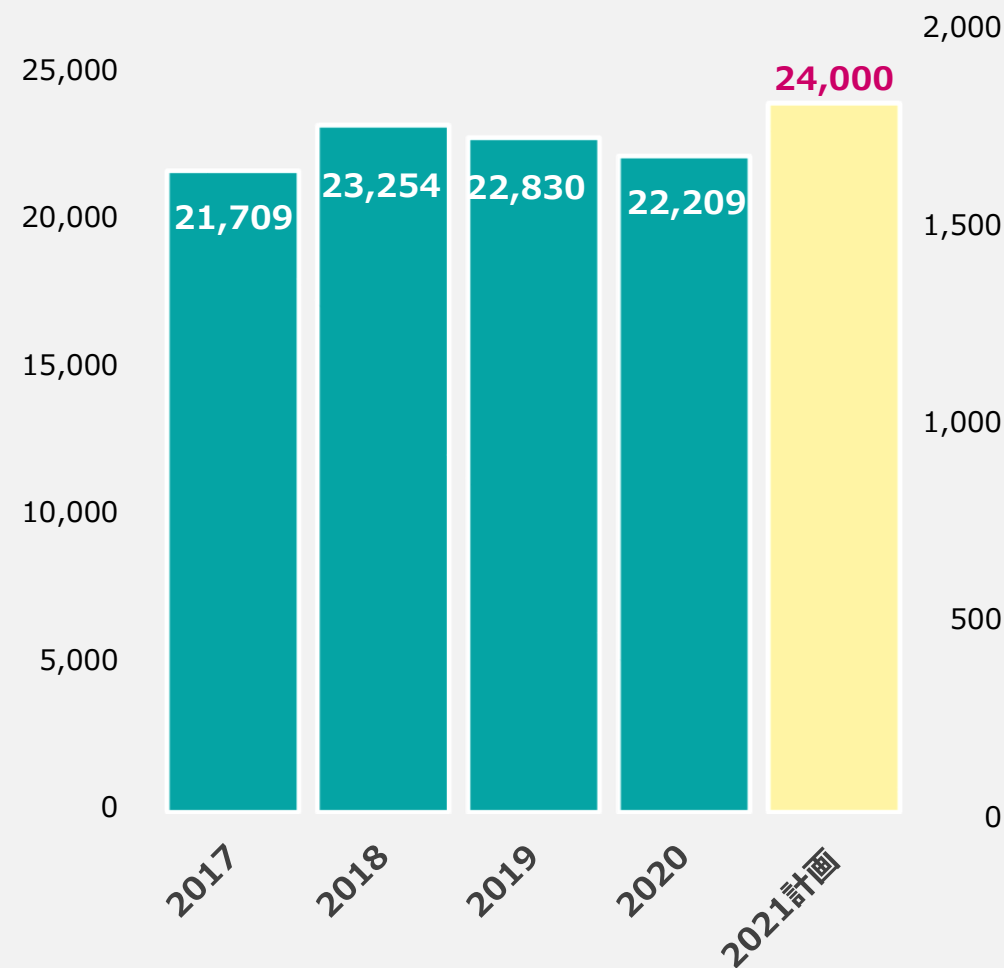


今期計画等

連結売上・利益計画

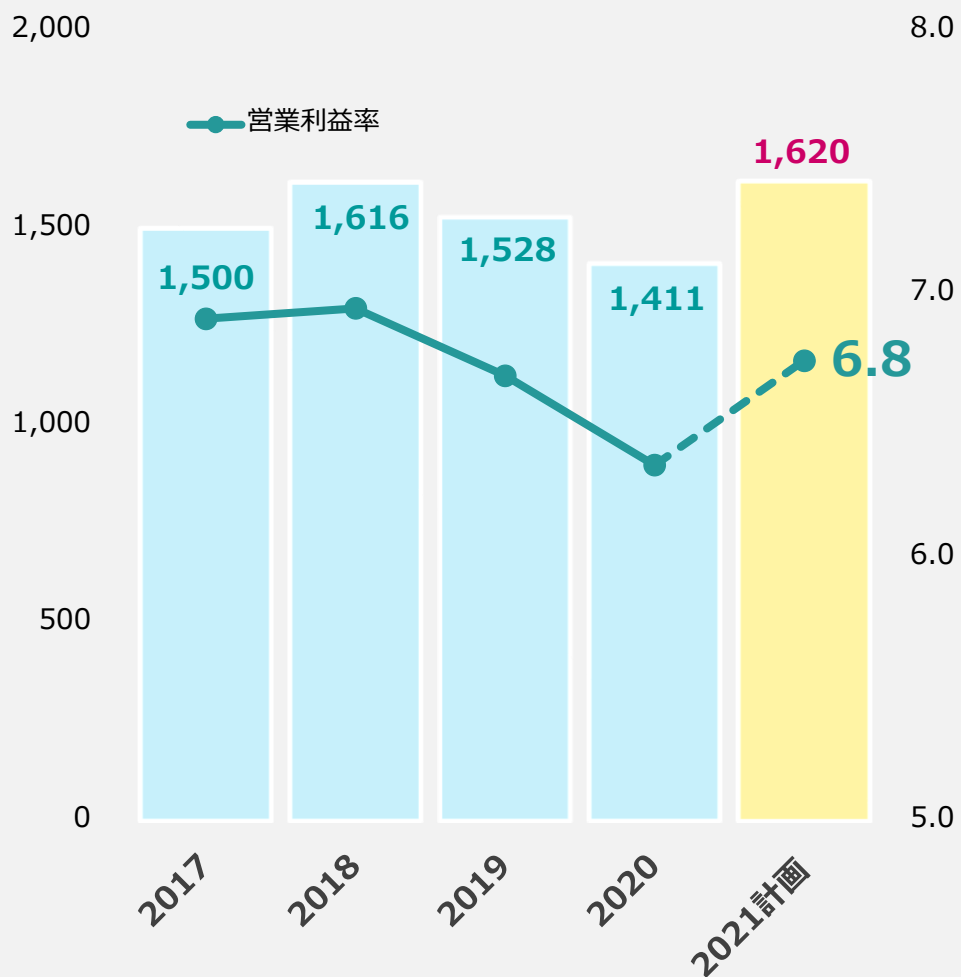
売上高

(百万円)



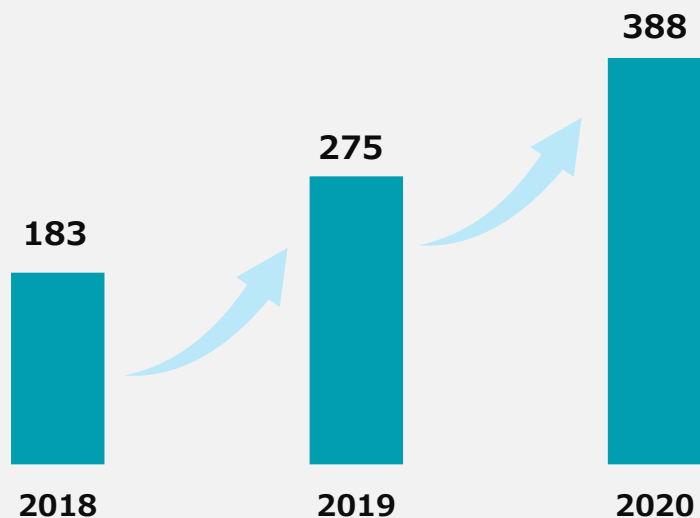
営業利益

(%)



北米向けフルコンテナサービス

米国向けフルコンテナサービス強化による
食品関連コンテナ本数の伸び(TEU)



2018年北米向け
プロジェクトチームを設置

米国現地法人の担当者が出荷前から
日本語で輸出手続きのアドバイス

スムーズな現地通関とデリバリー

日本の食品輸出額目標

2025年までに2兆円

2030年までに5兆円

日本の米国向け輸出額目標

品目	2019年実績	2025年目標
牛肉	31億円	185億円
茶	65億円	118億円
菓子	25億円	63億円
日本酒	67.6億円	180億円

出典：内閣府：農林水産物・食品の輸出拡大のための輸入国
規制への対応等に関する関係閣僚会議資料より当社にて作成

営業スタイルの多様化

従来の訪問営業に加え、非接触型営業の強化・推進

- ・ **デジタルパンフレットの充実**
- ・ **オンライン会議システムによる多拠点・遠隔地との商談**
- ・ **当社HPから24時間アクセス可能な見積り・BOOKING機能**

[illegible]

営業スタイルの多様化

<NAIGAI CARGO> 貨物引取・配車マッチング サービス



海上混載業界初／ 集荷手配のデジタル化

オンラインでの輸出見積もり・
貨物トレース・ブッキング機能
によりお客様の業務簡素化・
効率化を支援

顧客の業務簡素化支援

内外トランスライン

内外トランスライン（NTL）は1日、海上輸出混載貨物のブッキングから国内集荷（引き取り）の手配・管理をデジタル化できる新サービス「NAIGAI CARGO」（ナイガイカーゴ）の本格展開を始めた。自社のウェブブッキングサービスと外部の配送マッチングサービスを組み合わせ、顧客の業務の簡素化・効率化を支援する。今後、月間100件程度の利用を目指す。海上混載業界でこうしたサービスは初とみられる。

集荷手配をデジタル化

輸出混載 業界初、予約と一貫管理

貨物・配送情報を入力後、すぐに見積もりを確認した上で、引き取りを依頼できる。トラック運賃は、NTLが海上混載料金を合わせて請求する。

ナイガイカーゴにより、利用者は業務を大幅に簡素化できる。電話やメールで行っていた煩雑な作業をウェブ上の簡単な操作でほぼ自動化できる。

輸出混載貨物のブッキングから引き取り手配までの業務全般を可視化し、部署内などで情報共有できるので、業務効率も向上する。関係者が場所を選ばず業務を進められるメリットも大きい。

海上混載輸送では一般的に、利用側が貨物の引き取りやデリバリーを手配する。NTLのウェブブッキング率は90%以上。引き取り手配についてもデジタル化需要があり、さらに新型コロナウイルス禍でリモートワークが広がっていることから、サービスを開発。昨年9月から試験的に提供していた。

現状、利用者はNTLのブッキングナンバーなどを手動で入力する必要があるが、NTLとラクスルは今後、ブッキング

出典：日本海事新聞2021年2月5日掲載

IR活動

当社IRサイト Youtubeで 社長インタビューを 公開しました

当社の業務内容や強み
目指す姿などについて
投資家や就活生の方々に
理解を深めていただく
ためのIR動画を作成
致しました



SDGsへの取り組み

当社は経営理念のもと SDGsと行動規範を関連付け グループ経営を推進しております

(経営理念・行動規範 2006年7月制定)

* 内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協
調の精神を持って行動
します

当社
部長以上の女性比率
20%

- ・ 女性活躍推進
- ・ シニア雇用
- ・ 育児・介護休業制度



私たちは会社の仕事を
通じて社会への貢献を
果たします

- ・ 地域社会の発展・活性化・次世代育成
- ・ 環境負荷低減



私たちはたゆまぬ努力
により自己の成長を図
り、社会を発展させて
ゆきます

- ・ 社会・経済の発展に貢献



第4次中期経営計画 重要経営指標(KPI)

売上高

2022年に300億円達成

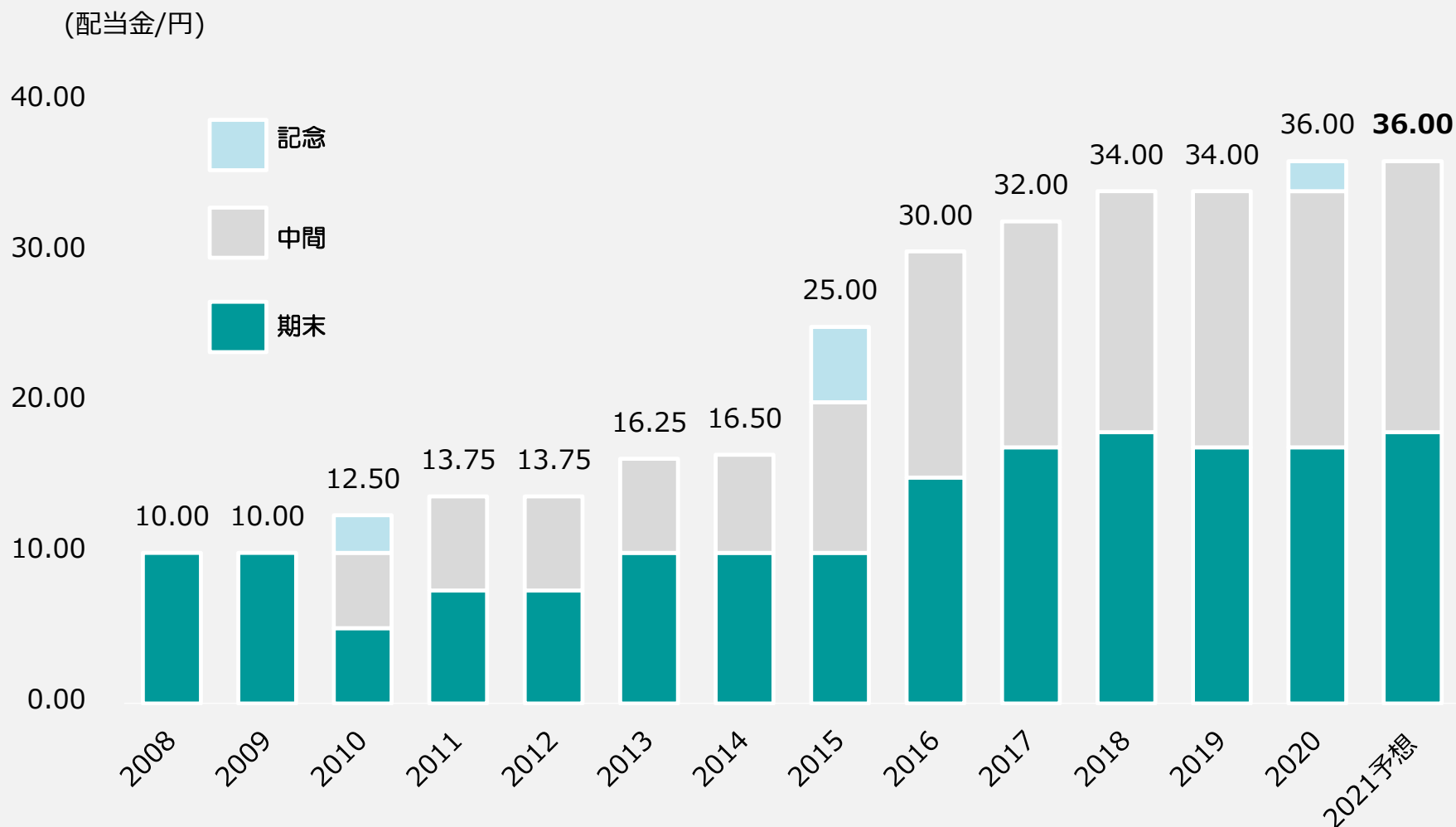
営業利益率

7.0%

ROE

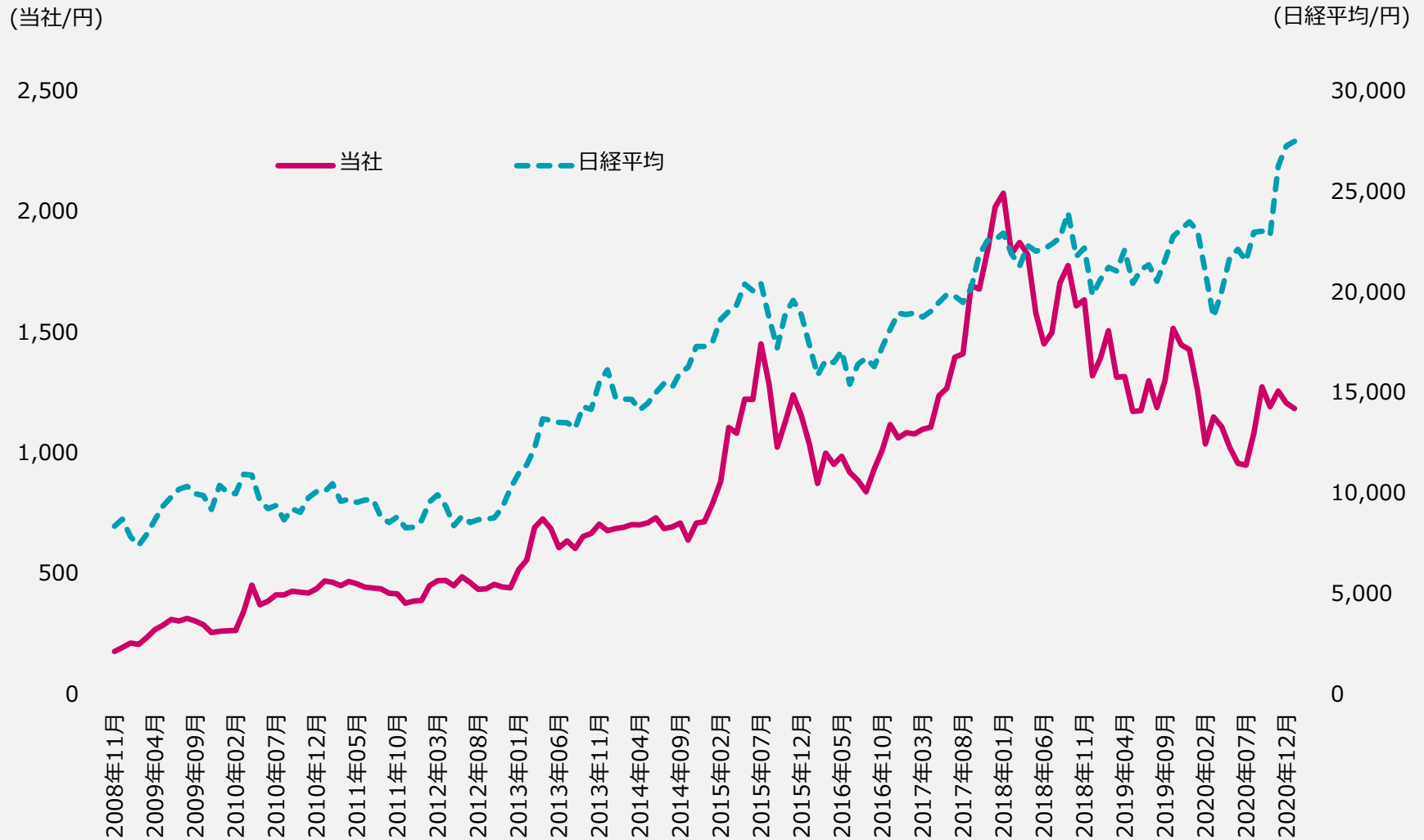
14.0%

配当金の実績と予想



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



出典：Yahoo!JAPANファイナンスを基に当社作成（株価は月末終値）

ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社
NAIGAI TRANS LINES

お問合せ先
取締役 IR担当 田中 俊光

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4713

URL <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。